会 議 録

会 議 名	令和6年度第4回文化財保護審議会		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	令和7年2月19日（水）午前10時00分から午前11時25分		
開 催 場 所	市役所第二庁舎8階第801会議室		
出 席 委 員	二宮会長 孤島委員 椎名委員 伊藤委員 鈴木委員 太田委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	碓井文化財係長 高木主任（学芸員）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
	<p>1 報 告</p> <p>(1) 玉川上水・小金井桜整備活用事業について</p> <p>(2) 名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 文化財説明板「関野分水」について</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 多摩郷土誌フェアについて</p> <p>4 次回の会議日程</p> <p>令和7年5月14日（水）午前10時から 801会議室</p>		

会 議 結 果

碓井文化財係長	<p>では、これより令和6年度第4回文化財保護審議会を開催させていただきます。</p> <p>本日、生涯学習課長の三浦につきましては、他の公務のため、本日欠席とさせていただきます。大変申し訳ございません。何卒ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、議題に先立ちまして、本日の配布資料の確認をお願いいたします。</p>
高木主任 (学芸員)	(資料確認)
碓井文化財係長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事進行につきましては、二宮会長にお願いさせていただきます。</p>
二 宮 会 長	<p>おはようございます。</p> <p>インフルエンザ等が流行っておりますが、皆様くれぐれも体調にはご留意いただければ、と思います。</p> <p>本日は令和6年度最終の審議会となります。それでは次第に沿って進めさせていただきます。</p>
二 宮 会 長	<p>1 報 告</p> <p>(1) 玉川上水・小金井桜整備活用事業について</p> <p>それでは、「報告(1) 玉川上水・小金井桜整備活用事業について」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。</p>
高木主任 (学芸員)	<p>令和6年度事業は、「小金井橋～平右衛門橋」の区間において、新たに15本のヤマザクラ苗木の補植を行いました。苗木の生産者の内訳は、「東京都立農業高等学校」が5本、「名勝小金井桜の会」が5本、「杉山造園」が5本となっています。</p> <p>令和7年2月13日に、本事業に係る連携協定に基づき「東京都立農業高等学校」の3年生が中心となって植樹していただきました。苗木は令和3年度に接ぎ木したものとなります。</p> <p>なお、「東京都立農業高等学校」の生徒が自ら接ぎ木を行った苗木には、植樹場所付近のフェンスに、その旨を記載したパネルを貼付し、周知を図っています。</p> <p>本事業の年間工程においては2月の植樹が大きな作業となりますが、その後も次世代の苗木作りを開始することとなります。令和7年3月14日に、「東京都立農業高等学校」において「名勝小金井桜の会」を講師とし生徒向けに「切り接ぎ講習会」を行う予定です。</p>
二 宮 会 長	ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご意

	見・ご質問等がございますか？
鈴木委員	令和6年度に補植を行った15本のうち、「東京都立農業高等学校」が生産者となっている5本につきましては、既に同校を卒業された生徒の皆さんが接ぎ木を行ったもの、という理解でよろしかったでしょうか？
高木主任(学芸員)	はい、お見込みの通りです。 東京都立農業高等学校は、「名勝小金井(サクラ)復活プロジェクト」のほか、府中市の大國魂神社の前にある天然記念物「馬場大門のケヤキ並木」プロジェクトにも協力されていて、学校のカリキュラムとして「ヤマザクラ」又は「ケヤキ」の生産に携わる生徒が隔年で入れ替わる形になっています。 そして、令和6年度の3年生については、「ケヤキ」の担当学年ではありますが、先輩が接ぎ木から育てた苗木をしっかりと引き継いで植樹していただきました。 今後も、自分たちで接ぎ木から育てた苗木を植樹していただくこともありますし、先輩が接ぎ木から育てた苗木を引き継いで植樹していただくこともあると思います。
椎名委員	お示しいただいた資料では、生産者に係る内訳が少しわかりづらいため、「生産者」「植樹者」「母樹番号」はセットでわかるよう、資料を整理していただければ、と考えます。 一般的には「植樹者」は委託事業者となるケースが多いため、さほど重要ではないのですが、本事業に関しては、「東京都立農業高等学校」の生徒の皆さんが植樹作業を行っている苗木もあることから、将来的に「東京都立農業高等学校」の生徒の皆さんが植樹した苗木がわかるように、きちんと記録を残していただければ、と思います。
高木主任(学芸員)	記録を整理させていただきます。
椎名委員	将来的に「小金井桜の生長状況」が問題になった際に、先ほど挙げさせていただいた項目がきちんとわかるようになっていることが重要ですので、よろしく願います。
二宮会長	他にご意見・ご質問等がございますか？よろしいでしょうか？
委員全員	(特になし)
二宮会長	(2) 名勝小金井(サクラ)名勝指定100周年記念事業 それでは、「報告(2) 名勝小金井(サクラ)名勝指定100周年記念事業」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

高木主任 (学芸員)

「名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業」については、この間、事業が終了いたしましたので、その結果をご報告させていただきます。

当該事業の数は、市主催・市内事業者・市民団体等主催の冠称事業、全部で70を超える事業数となりました。

最も重要な事業として、名勝指定日の前日の令和6年12月8日（日）午前には、小金井宮地楽器ホールにおいて、「名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念式典」を執り行いました。「『これからの100年』将来に向けて、この貴重な文化財をしっかりと残し次世代に継承していく。」という強いテーマ性で執り行いたしました。

式典にはご来賓の方・ご招待者の方を中心に、約250名の方にお越しいただき、盛大に執り行うことができました。

連携協定を締結している「東京都立農業高等学校」の3年生の生徒の皆さんに、次世代を代表して「百年後の未来へ」と銘打ち、プレゼンテーションを行っていただきました。ご来賓の皆様・ご招待者の皆様にも、「将来に向けて、この貴重な文化財をしっかりと残していく、次世代に継承していく。」という思いは十分に伝わったのでは、と考えています。

これまで「名勝小金井（サクラ）」の保護にご尽力いただいた「功労者」への表彰を行わせていただき、表彰状並びに記念品を授与させていただきました。

そして、小金井桜の親の一つが桜川（茨城県）の桜であることから、永い「縁」をきっかけに、本市と桜川市の両市で、防災協定を締結させていただきました。これはまさに「名勝小金井（サクラ）」によって生まれた「縁」であることから、本式典において、桜川市長にご登壇いただき、協定締結の報告、桜川市と小金井市の縁、その歴史等についてご紹介いただきました。

同日午後には、「名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念お祝いの会～笑顔広がる！小金井桜フェス」を開催させていただきました。「小金井桜フォトコンテスト」の優秀作品表彰式・「小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会」委員長の亀山 章氏による記念講演会・無形民俗文化財公演・小金井市文化協会加盟団体による「伝統芸能公演及びキッズダンス」・教育長による「グランドフィナーレ」等々、盛りだくさんの内容で、ご来場いただいた約1,000名の市民等の皆様にお祭り感覚で楽しんでいただきました。

文化財担当といたしまして、この度の「記念式典」「お祝いの会」の場を生かし、「『名勝小金井（サクラ）』だけではない小金井の文化財の魅力を伝えたい」という思いがあったことから、「記念式典」においては「小金井囃子保存会」の皆様にご出演いただき「小金井囃子」のご公演を、「お祝いの会」においては「関野町餅搗保存会」の皆様にご出演いただき「関野町餅つき」のご公演をいただきました。

	<p>また、この度の「記念式典」「お祝いの会」開催に際しまして6分ほどの記念映像を作成いたしましたのでご覧ください。</p> <p>(記念動画上映)</p> <p>ほか、春季の予定として令和7年3月20日(祝)実施の子ども向け「小金井桜スタンプラリー」(小金井青年会議所主催)、JR武蔵小金井駅主催の「駅からハイキング」がごございます。JR武蔵小金井駅さんとタイアップして、満開の「名勝小金井(サクラ)」をご覧いただきながら歩いていただけるルート为名勝指定記念で設定していただいています。</p> <p>市主催事業では、令和7年3月30日(日)に、「小石川植物園と小金井桜」というタイトルで、東京大学大学院 小石川植物園の樹木医 清水 淳子氏に講師をお願いし、ご講演を賜ります。</p> <p>小石川植物園と名勝小金井(サクラ)は歴史的に非常に密接な関わりがあり、三好 学博士が大正時代に小金井桜のクローンを園内にて保存し、現在もそれを保管していただいています。</p> <p>ご講演では、そのような内容と合わせ、小石川植物園の歴史・見どころについてもご講話いただける、とのことでした。</p>
二 宮 会 長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご意見・ご質問等はございますか？</p>
椎 名 委 員	<p>「小金井桜サクラ材活用事業」はどのような事業なのでしょうか？</p>
高木主任(学芸員)	<p>令和6年夏の時期に、強風の影響で、玉川上水沿いの「名勝小金井(サクラ)」のうちの2本が倒木してしまいました。うち1本が枯損の少ない比較的状态が非常に良かったため、「捨てずに利活用する。」という観点から、「木材」として活用していく、という事業を行いました。</p> <p>製作するのは玉川上水沿いに設置する「名勝小金井(サクラ)」の標記板で、日本語・英語併記のものです。令和6年10月の乾燥・製材作業を経て、標記板を作製し、玉川上水沿いに設置する予定です。</p> <p>なお、本業務を請負していただいているのは、東京学芸大学附属中学校の教職員が管轄する東京学芸大学内部の社団法人で、実際に作製作業をしていただいているのは東京学芸大学附属中学校に通う中学生で、そういった意味でも、初の試みとなります。</p>
椎 名 委 員	<p>東京都立農業高等学校に続き東京学芸大学附属中学校と、若い世代とコラボした事業展開は非常に好印象です。</p> <p>自著で恐縮ですが、「『名勝小金井桜』林床に見られる草本類等」を刊行・頒布したことで、「草本類」の観察目的で玉川上水沿いを散</p>

	<p>策される方もいらっしゃると思います。</p> <p>ただ、玉川上水沿いに生息している「草本類」には、全体的に広く生息しているものもある一方、特定のエリアのみに群生しているものもありますので、特に群生しているものについては、生息しているエリアの近辺の柵に種名入りの標記板を設置するのもよいと思います。</p> <p>特定のエリアのみに群生しているものは、一般の方々には探すのが少し難しいため、群生しているエリアに「ガイドプレート」的に設置するのも良いと考えます。</p> <p>そうすることで「標記板」自体が人の目につくことにも繋がり、同時に「倒木した名勝小金井（サクラ）の木を材料とし、東京学芸大学附属中学校とのコラボ事業として当該標記板を作製した。」ことの周知にも繋がるのが期待できると考えます。</p>
高木主任 (学芸員)	検討してまいります。
椎名委員	<p>ヤマザクラは、開花期はおよそ2週間程度ですが、流石にモミジには劣りますが、秋の紅葉の季節の美しさも非常に魅力的ですので、そういった魅力についても啓発を行うことで、「『名勝小金井（サクラ）』が、年間を通して身近な存在としてより市民に愛されることが期待できると考えます。</p>
二宮会長	ありがとうございます。他にご意見・ご質問等はございますか？
高木主任 (学芸員)	<p>玉川上水沿いにおける「四季の風景」の記念動画撮影の際には、ドローン撮影を多用いたしました。目指したイメージは、歌川広重が描いた浮世絵「夕照」に描かれている情景でしたが、「真蔵院」上空からの風景がそのイメージに合致しました。撮影の際には孤島委員には多大なご協力を賜りました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。</p>
椎名委員	<p>「名勝小金井（サクラ）」につきましては、ヤマザクラ並木の復活、という部分は着実に成果が出てきていますので、「植栽」「管理」等のハード面についてはこれまでの流れを継承しつつ、ソフト面においても「『名勝小金井（サクラ）』の美しさを知っていただくための何らかの「仕掛け」を考えていく必要があると思います。</p> <p>本整備事業については、「考え方」や「姿勢」がまちまちのため、「新聞」に関しては各社警戒している部分もありますが、「紅葉の映像」は誰が見ても美しいものですので、それを掲載していただくこと自体は別に問題はないと考えています。</p> <p>様々な媒体を通じて積極的な広報を行い、名勝指定時くらいの往時の評判を取り戻すことができれば、と考えています。</p>

二宮会長	他にご意見・ご質問等はございますか？よろしいでしょうか？
委員全員	(特になし)
	2 議題
二宮会長	(1) 文化財説明板「関野分水」について それでは、「議題(1) 文化財説明板『関野分水』について」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。
高木主任(学芸員)	本市では、「文化財の普及・啓発」の観点から、例年「文化財説明板」の作製・設置を行っております。 令和6年度におきましては、江戸時代に開削された玉川上水の分水の関野分水を紹介する「文化財説明板」を作製・設置することにいたしました。 関野分水は、玉川上水の北側、都立小金井公園南側の敷地境界に沿う形で東西方向に流れる分水です。現在は遊歩道になっている場所や、開渠部分も埋没してあるため、そのエリアが「分水跡」であることがあまり認知されていない、という実情があることから、「分水跡」の普及・啓発の観点から、令和6年度は「関野分水」の文化財説明板を設置することといたしました。なお、設置時期は令和7年3月を予定しています。
	(文案読み上げ)
二宮会長	ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご意見・ご質問等はございますか？
太田委員	この文化財説明板の設置予定場所はどこでしょうか？
高木主任(学芸員)	「江戸東京たてもの園」前の玄関口部分への設置を予定しています。
太田委員	設置予定場所には水路は残っていますか？
高木主任(学芸員)	設置予定場所は、現状は「桜町遊歩道」として舗装されています。 「江戸東京たてもの園」前という立地は人通りも多く、現状遊歩道として整備されている場所が、まさに分水の上である、という史実は知られていないことから、設置する意義は大きい場所であると認識しております。 「設置しやすさ」「人通りの多さ」を兼ね備える場所に設置するよう努めています。
伊藤委員	「文化財説明板の設置」については「新設」「老朽化したものの更

	新」どちらが多いのでしょうか？
高木主任 (学芸員)	原則は「新設」です。
伊藤委員	この度、文化財説明板「関野分水」の設置に至った経緯についてご説明をお願いします。
高木主任 (学芸員)	文化財担当に寄せられる市民の皆様から「小金井市域内の河川や水路の位置」のお問い合わせが増えています。一方で、現状市内に設置している文化財説明板の中に、市域内の水路について紹介するものが少なかったことから、「水路や河川の歴史に興味がある方・散策される方」に向けて設置させていただくこととしました。
伊藤委員	<p>設置までの経過については理解しました。その上で、文化財説明板の設置に際しては、体系的な全体計画を立案した方がよいと考えます。</p> <p>例えば水路に関して「どこを」「どの順番に」「どのように」説明していくのが全体計画として明確化していれば、非常にわかりやすいのでは、と考えます。</p> <p>ご説明をお伺いさせていただいて、どこに水路があり、どこに文化財説明板を設置するのかが当然に非常に重要と考えます。</p> <p>水路全体の「図」があって、「この場所」に水路があったことから、「このような」文化財説明板を設置する、という「ストーリー」が見えない中で説明文のみを修正しても果たして意味があるのか、という印象を持ちましたのでご質問させていただきました。</p>
高木主任 (学芸員)	説明の前段部分の準備が不十分で大変申し訳ございませんでした。後日、図面を用意し、説明文案をご確認いただく方法とさせていただきます。
孤島委員	おそらく、かつては現在の小金井市域にも用水はあったのだろうと考えますが、今回の設置場所は、たまたま遊歩道という公共用地になっている場所が残っていましたが、大半の場所は現在個人所有の住宅地になっており、おそらく関野分水は田無用水と繋がっていたと思われませんが、現在においてその痕跡を辿ることはほぼ不可能であることから、水路や河川の歴史に興味がある方には申し訳ない表現かもしれませんが、水路の歴史に係る普及・啓発として行政が行えることは本件のような「文化財説明板の設置」くらいしかないのでは、と考えます。
伊藤委員	<p>先ほどの私の発言が誤解を招いていたとしたら申し訳ありません。</p> <p>私も、本説明板の設置自体に異論を唱える意思はまったくございません。むしろ、「遊歩道」という公共用地である場所に元々水路があ</p>

<p>孤島委員</p>	<p>った、という状況が大変貴重である、ということは認識しており、「水路」という地味(?)な文化財にもきちんとスポットを当てて説明板を設置していくことは大変素晴らしいことであるという認識を持っています。</p> <p>だからこそ、小金井市域のかつての水路系を念頭に、文化財説明板の設置が可能な場所については、今後積極的に設置を図っていく、そのような「プロジェクト」的な発想も大切なのでは、と考えています。</p> <p>特に小金井の地域史において、「新田開発」の歴史は大変重要ですし、「新田開発」において必要不可欠な「水路」の重要性を市民の皆様様に伝えていく、という観点からも、もう少し体系的に整備された方がよいのでは、と考えました。</p> <p>先ほど事務局より「付図を作成してから本文の検討を」とのご提案も賜りましたが、文言の検討については進めていただきつつ、付図は最後の段階で最も然るべき箇所に記載していただければ、と考えています。</p> <p>そういう意味では、「用水・分水の遺構を大切にしていく。」という小金井市の姿勢が見る人に伝わるような文化財説明板になれば、という思いを持っています。仙川用水は、現状のままでは勿体ない、と思います。</p>
<p>碓井文化財係長</p>	<p>先ほど、伊藤委員より非常に貴重なご意見を賜りました。深謝いたします。</p> <p>文化財説明板の設置に際しましては、直近数年の業務の流れといたしまして、毎年度第4回の本審議会の場におきまして、委員の皆様様に設置場所及び説明文の案をお示しさせていただき、お諮りさせていただいた上で年度末に設置する、という流れになっていると認識しております。</p> <p>年度末に設置していること、及び先ほど伊藤委員よりご意見を賜りました「計画性」「体系性」の部分につきましては、敢えてそのようなものを持たせないことで、直近の市民の皆様の声や、令和5年度に「小金井第一小学校設立150周年」に合わせるなどの、柔軟性やタイムリーさを持たせることができている、という面もあったと認識しています。</p> <p>ただ、事業として「計画性」「体系性」を持たせることの重要性や、本審議会の委員の皆様にお諮りする時期等については見直しの必要はあると考えておりますので、令和7年度以降どのような形で事業を進めていくのかにつきましては、事務局内で検討してまいりたいと考えておりますので、何卒よろしく願いいたします。</p>
<p>太田委員</p>	<p>小金井市域は、南側の「はげ下」エリアには、「はげ」の側から出た湧水路がかなり残っており、さらにその場所は案内の「榜示杭」の</p>

	<p>ような形で表示がされています。</p> <p>そのため、「はけ」付近を散策すると、湧水路の流れに沿ってさらに南に位置する野川に近づいていく、というのが楽しみになっていたりします。</p> <p>一方、北側の「武蔵野」エリアは、本件のように遊歩道になっていたり、宅地化されて埋められたり、というケースが多く、玉川上水からの分水ルートは発見が難しいのが実情です。</p> <p>現在の本町及び梶野町エリアの宅地内には玉川上水の分水の築樋が残っており、文化財説明板も設置されていますが、非常にわかりにくい場所に設置されています。</p> <p>それらの場所については、見学者を呼んで啓発イベントを実施する、というのは難しいと考えますが、水路や河川の歴史に興味がある方々の琴線に触れるような仕掛けはできるのではないかと考えています。</p> <p>令和6年度の「関野分水」の文化財説明板設置によって、ややもするとそのような認識を持つことが難しい「遊歩道」というエリアの下に、このような重要な遺構があった、ということを知っていただける、ということが重要であると考えますし、玉川上水の北側エリア、現在の小金井公園の敷地には元々は集落が存在していた、という史実についてもなかなか認識することは難しいと考えます。</p> <p>そのような「仕掛け」は現状判明していないものも多くあると思いますので、そのようなものを少しずつ拾いつつ、残った課題を次に引き継いでいくことが重要であると考えます。</p>
<p>椎名委員</p>	<p>現在の小金井市域の北部は、新田開発をきっかけに村が生まれた、という歴史があり、分水の存在はその最大の根拠となっています。ですので、新田開発を行うために分水ができた、という史実については後世に伝えていく必要があると考えます。</p> <p>現在の小金井市域については、南側の国分寺崖線は湧水があり、水に不自由することはなかったと思われませんが、北側の武蔵野の草原地帯に水路を通し、新田開発が行われ、村ができた、という歴史はもっと周知されるべきであると考えます。そして、その成果を記念する形で最後に生まれたのが「名勝小金井（サクラ）」である、と言えるのではないのでしょうか。</p> <p>「築樋」や「水路跡」といった個別の遺構に関する啓発としては「文化財説明板の設置」という手法で問題ないと考えます。</p> <p>ただし、現在の小金井市域の北側のエリアには、「新田開発によって初めて村ができた」ことから「小金井桜の誕生」までの歴史の流れを全体としてわかるような仕組みができるといいのではないかと考えます。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>説明文の内容について数点指摘させていただきます。</p> <p>まず1点目といたしまして、「分水」という言葉を知らない方もい</p>

	<p>らっしゃると思われまので、注釈または説明文を入れるべきと思います。</p> <p>2点目としましては、新田開発を進めていた人々が水に困り、幕府に水路を造ってくれるようお願い出た、という説明までは理解できますが、実際に開削作業を行ったのは誰なのか、幕府が人夫を出したのか、或いは新田の人々が自ら造ったのか、という点について記載がありません。</p> <p>3点目としましては、「関野分水」という名称はどの時代に付けられたのでしょうか？おそらく、現在の「関野町二丁目」エリアをすることから「関野分水」と名付けられたのでは、と思いますが、当初から「関野分水」という呼称だったわけではない、と思われまので、どの時期に「関野分水」と名付けられたのか、という部分がわからないため、その点に関する表記には工夫が必要であると考えま。</p> <p>実際に開削作業を行い、関野分水を造ったのは幕府か、新田の住民か、どちらなのでしょうか？</p>
太田委員	<p>「関野分水」が造られた時期には、村の人口はまだ少なかったことから、おそらく工事自体は幕府主体で行われており、現場作業については幕府が雇った人夫が受け持っていたと思われま。</p> <p>そして、「関野」の地名の由来は、当時小金井村に住んでいた「関家」が許可を受けて開拓したこと、から、「関」氏が造った「野」原の村、ということで「関野新田」と名付けられました。</p> <p>そして、「梶野」の地名の由来も同様で、開拓した「梶家」の名字を取り、「梶野新田」と名付けられました。なお、梶野新田においては、その後、村役人が名字として「梶野姓」を名乗っています。</p>
鈴木委員	<p>そのような由来であれば、説明文の文面としては開拓者の名前の部分は少しぼやかして、「『関野分水』と呼ばれるようになりました。」くらいの表記にしておけば、多少曖昧にはなりますが、正確な内容と言えるのではないのでしょうか。</p>
二宮会長	<p>本件につきましては、かなり多くのご意見をいただいていますので、一旦事務局に戻させていただきます、ご意見をいただいた部分について再検討していただき、委員による確認・承認は別途行う、という進め方でよろしいのでしょうか？</p>
委員全員	<p>(異議なし)</p>
二宮会長	<p>「文化財の保護・啓発」の観点において、「文化財説明板」は非常に大きな役割を果たしていると考えまので、皆様よろしくお願ひいたします。</p> <p>そして、先ほど事務局からもご説明をいただきましたが、令和7年</p>

委員 全 員	<p>度以降の文化財説明板設置に係る考え方や業務の進め方につきまして、令和7年度以降議論できれば、と考えていますがよろしいでしょうか？</p> <p>(異議なし)</p>
二 宮 会 長	<p>3 その他</p> <p>(1) 多摩郷土誌フェアについて</p> <p>それでは、「その他(1) 多摩郷土誌フェアについて」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。</p>
碓井文化財係長	<p>それでは、多摩郷土誌フェアにつきまして、私の方からご報告させていただきます。</p> <p>多摩地域各市町村の文化財行政担当者が一堂に会し、各自治体の地域史や文化財に関する多様な刊行物を即売会形式で販売するという本イベントは、令和6年度は、令和7年1月18日(土)・19日(日)の2日間、立川市柴崎学習館において開催されました。主催者である東京都市社会教育課長会の今年度会長市及び会場市である立川市をはじめ、参加された23市町の担当者、並びにご参加いただいた参加者の皆様に、この場をお借りして御礼申し上げます。</p> <p>イベントにご来場いただいた方の人数は、18日(土)は257名、19日(日)は184名、2日間合計で441名の方にご来場いただき、うち小金井市のブースにて刊行物をご購入いただいた方の人数は、18日(土)が19名、19日(日)が8名で、2日間合計で27名でした。売上額は、18日(土)が11,400円、19日(日)が4,050円で、2日間合計で15,450円でした。</p> <p>小金井市単体で申し上げますと、購入冊数・売上額ともに、令和5年度より大きく下回る結果となりました。理由としては、過日開催しました名勝小金井(サクラ)名勝指定100周年記念式典の際に、御招待者の皆様にお配りさせていただいた名勝小金井(サクラ)名勝指定100周年記念冊子の無料配布を行ったことで、興味を示してくださる方は多かったものの、初めて多摩郷土誌フェアに出品する新刊がなく、また、小金井桜関係の冊子としてこれまでと手に取っていただきやすかった「名勝小金井桜絵巻」が、既に全て完売していた状況でお出しできなかったこともあり、購入のきっかけが乏しかったといったことが挙げられると考えています。今回の成果、課題につきましては、今後の刊行計画の立案の際に参考にさせていただきたいと思います。</p> <p>以上で私からの説明を終わります。</p>
二 宮 会 長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご意見・ご質問等はございますか？よろしいでしょうか？</p>

委員 全 員	(特になし)
二 宮 会 長	4 次回の会議日程 それでは、「4 次回の会議日程」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。
碓井文化財係長	まず、令和7年2月19日開催の第4回文化財保護審議会をもちまして、令和6年度の文化財保護審議会につきましては全て終了ということになります。委員の皆様におかれましては、令和6年度におきましても、1年間、貴重なご提言、ご意見を数々賜り、誠にありがとうございました。深く御礼を申し上げます。 そして、令和7年度 第1回 文化財保護審議会につきましては、令和7年5月14日(水)午前10時より、801会議室におきまして開催させていただきたい、というのが事務局案でございます。
委員 全 員	(異議なし)
二 宮 会 長	以上で本日の議題は全て終了いたしました。他に何かございますでしょうか？よろしいでしょうか？
委員 全 員	(特になし)
二 宮 会 長	それでは、以上をもちまして令和6年度 第4回 文化財保護審議会を終了させていただきたいと思っております。どうもありがとうございました。